

日野市立とよだ保育園
保護者の皆様

保育課長 高橋 真二
(公印省略)

仮設園舎の施設概要及び送迎面の対応について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、市の保育行政につきましては日頃からご理解並びにご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、とよだ保育園の園舎につきましては老朽化が進んでいることから、民営化に伴い、建替えを行うことが決定しております。また、仮設園舎の建設場所については、昨年度に実施した保護者の皆様へのアンケート結果に基づき、(仮称)豊田南第一公園とし、建設計画を進めているところです。

つきましては、仮設園舎の施設整備及び仮設園舎への移転に伴う送迎面への対応について、保護者の皆様よりいただいておりますご要望のまとめと現在の検討状況についてお知らせします。また、仮設園舎への移転時期について、現在、保護者会代表の皆様とお話をさせていただいておりますので、その状況についてお知らせいたします。

今回まとめさせていただいたご要望は、昨年度実施したアンケートに基づいておりますが、現在の状況は最終決定ではございませんので、引き続き保護者会とお話をさせていただきます。

記

(1) 施設整備関係

仮設園舎の施設につきましては、子どもたちの生活に支障がなく、保育環境の低下を招かないように配慮いたします。ただし、現在のとよだ保育園は自然に恵まれ、園庭の遊具等も整備された環境が整っていますが、仮設園舎については1年という期間限定である事、園舎及び外構(フェンス・駐車場の整備等)のみでも1億6千万円の費用がかかることから、保護者の皆様のご要望を全て取り入れることは難しい状況です。その中で、出来るだけ保護者の皆様のご要望を取り入れ、快適な保育環境とするために、保育園の園長・保育士とも相談の上で進めています。現在の方向性は以下のとおりです。

1. 場所 : 日野市豊田2丁目 区画整理地内 (仮称) 豊田南第一公園
2. 平面図(仮) : 別紙のとおり
3. 要望と対応まとめ

①園庭・遊具

要望	可否	内容
園庭に日影をつくる(熱中症対策)	○	仮設園舎期間は1年であることと費用の面で、現在のように樹木で日陰を作ることは出来ません。ただし、日蔭がないと熱中症などの危険性が高い場所(プール及び砂場)についてはロープで布等を張るなどの工夫をすることにします。また、熱中症が心配な夏期間については、現在も、午前中はプール、午後はその日の気温等状況を見ながら園庭や保育室で保育をしています。その他、園庭で遊ぶ時間や水分補給等に配慮しながら園庭遊びを行います。
園庭を芝生にする	×	仮設園舎期間は1年のため、不可能です。
畑をつくる	×	仮設園舎期間は1年のため、不可能です。プランター等で栽培できる植物を育て、食育活動に生かす等の工夫で対応します。
プール	○	設置します。

大型遊具等(すべり台・ジャングルジム・鉄棒・うんてい・砂場)	△	とよだ保育園で使用中の遊具は劣化が激しく移設することは困難です。現在設置されている全ての遊具を仮設園舎に設置することは費用的に難しいため、保育士の意向を取り入れ、子どもたちの遊びの幅を広げ、発達を促すために必要な遊具を選定し、設置します。現在、設置方向の遊具は以下のとおりです。 ・鉄棒 ・すべり台(乳児用) ・砂場 ・タイヤ(とよだ保育園から移設)
サッカーゴール	○	現在、とよだ保育園で使用しているものを移設します。
ハウス	○	現在、とよだ保育園で使用しているものを移設します。
フェンスの設置	○	保育園の敷地周囲を高さ150cmのフェンスで囲みます。

②園舎

要望	可否	内容
採光のため窓を大きく	○	窓を特別に大きくすることは出来ませんが、窓が小さく、採光が少ないという作りにはなりません。
現園舎と保育室を同じ配置	×	全く同じ配置は不可能です。保育士の意見を聞きながら、保育しやすい環境に配慮して設計します。
保育室・トイレ・ホール・医務室・職員休憩室	○	現園舎と同等内容で設置しますが、現園舎より保育しやすい設計になっています。(保育室から直接使えるトイレなど) 園舎については、引き続き園長・保育士の意見を聞きながら詳細を決めていきます。
耐震性・土台をしっかり	○	耐震性には問題なく建設します。
平屋	○	平屋で建設します。
冷暖房設備	○	各保育室に設置します。
床暖房	×	現在のとよだ保育園にも設置されていないので、設置しません。
不審者対策	○	入口に自動施錠、モニター付きインターホン等を設置し、関係者以外は保育園内に入れないようにします。

③全体・その他

要望	可否	内容
駐車場・駐輪場から園舎までの舗装(雨の日のぬかるみ等の対策)	△	ぬかるみ対策は行いますが、舗装は行わない方向です。(砂利等の簡易舗装で対応予定)
駐輪場に屋根を設置	△	設置する方向で考えています。
ベビーカー置き場	○	確保します。場所や台数については確定していませんので、決まり次第お知らせします。
防災対策(川が近いため)	○	台風や大雨による浅川の増水等を想定した避難計画をたて、防災体制を整えます。
蚊・蜂・ヘビなどの対策	○	現在も、感染症媒介予防のための消毒を実施していますので、同等内容で継続します。また、ハチの巣撤去費用も確保しています。
信号の設置	△	警察に要望します。
交通量が多いため、登降園時間に保育士が立つなどの対応	○	状況を見て、必要であれば対応します
保育士・子どもの意見を聞くべき	○	とよだ保育園の保育士と話し合いの上、子どもの様子や意見についても取り入れていきます。

(2) 送迎関係

仮設園舎の建設場所は現園舎から600mほど離れており、多くの保護者が通勤で利用している豊田駅からも遠くなります。仮設園舎の期間中は、送迎や通勤面で不便になる方がいらっしゃると思いますので、駐車場につきましては現とよだ保育園駐車場台数より多く確保し、対応策とさせていただきます。ただし、仮設園舎の建設には1億6千万円の費用がかかり、さらなる予算措置は難しいため、その他の全てのご要

望にお応えすることは出来ない状況です。つきましては送迎面についての対応は、仮設園舎が遠くなることで、現在の開所時間では通勤が間に合わない、お迎えが間に合わない方への対応策として整理させていただきました。開所時間内で対応可能な方は、ご不便をおかけして大変申し訳ございませんが、ご協力をお願いいたします。

要望	可否	内容								
仮設園舎敷地内の送迎用駐車場・駐輪場の確保	○	<p>仮設園舎敷地内に駐車場10台、駐輪場10台程度は確保できる見込みです。(駐車場は、一部隣接地になる可能性もあります。)</p> <p>駐車場・駐輪場については昨年度実施したアンケートで利用希望をお伺いしましたが、今年度から入園された方も多いため、再度利用希望調査を行うように要望をいただきました。しかし、仮設園舎の保育期間は平成29年度ですので、今、利用希望調査を実施しても、平成28年度、平成29年度に入園される方の利用希望によっては、さらに状況が変わってくるものと考えられます。</p> <p>とよだ保育園と同等規模の保育園(民間園含む)の現在の状況をみると、駐車場は10台程度あれば送迎のピーク時間以外は概ね利用できています。</p> <p>(参考)</p> <table border="0"> <tr> <td>現とよだ保育園(定員110名)</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>たかはた台保育園(定員110名)</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>みさわ保育園(定員115名)</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td>むこうじま保育園(定員150名)</td> <td>10台</td> </tr> </table> <p>仮設園舎の敷地は、区画整理中の土地を一時利用させていただいているものです。土地の利用には一定の制約がある中で、最大限確保できる駐車場台数として10台となります。</p>	現とよだ保育園(定員110名)	4台	たかはた台保育園(定員110名)	10台	みさわ保育園(定員115名)	7台	むこうじま保育園(定員150名)	10台
現とよだ保育園(定員110名)	4台									
たかはた台保育園(定員110名)	10台									
みさわ保育園(定員115名)	7台									
むこうじま保育園(定員150名)	10台									
仮設園舎に置いておける駐車場(月極め)	×	昨年実施したアンケートでは、対象クラスでご希望される方がおりませんでしたので、現在は想定しておりません。								
仮設園舎に置いておける駐車場(一日単位)	△	個別の事情により、車を一日駐車する必要がある場合は、その都度、保育園と協議していただくことで対応します。								
仮設園舎に置いておける駐輪場(月極め)	△	アンケートでは、ご希望者は4名程度でしたので、対応可能と思われませんが、人数が多い場合は検討が必要となります。								
仮設園舎に置いておける駐輪場(一日単位)	△	個別の事情により、一日駐輪する必要がある場合は、その都度、保育園と協議していただくことで対応します。								
現とよだ保育園の駐輪場を引き続き使用	×	新園舎の建設開始から竣工までの期間は、駐輪場の使用は不可能となります。								
現とよだ保育園の駐車場を引き続き使用	○	現在の駐車場については、新園開設まで引き続き借りますので使用可能です。駐輪場として使用することも考えられます。								
豊田駅前前の駐輪場確保	×	<p>豊田駅南口で駐輪できる場所を調査しましたが、公有地で適当な土地はありませんでした。民有地(月極め駐車場)についても複数の不動産会社に確認しましたが、現在空きがなく、確保できる場所はありませんでした。平成29年度までに月極め駐車場に空きが出た場合は借りられる可能性もありますが、同一敷地内の駐車場で、ある程度まとまった台数を借りられない限り、駐輪場として使用することは管理上の問題(※)で難しい見込みですので、現在は確保できる状況にありません。</p> <p>(※)以下の問題があるため、貸主の合意が得られず、駐輪場としては使用できない可能性が非常に高い見込みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場に複数台の自転車が出入りすることになり、駐車場内での事故が発生する懸念がある。 ・駐輪中の管理が出来ないため、風等により転倒した場合、周囲の車を傷つける恐れがあり、トラブルの原因になる。 <p>現とよだ保育園の駐車場のように、駐車場内全てを貸切状態であれば、契約条項の追加・変更により、駐輪場として使用することが出来る可能性はあります。</p>								
豊田駅前前の駐車場確保	×	上記回答のとおりです。現在は確保できる状況ではありません。仮設								

		園舎敷地内の駐車場で対応願います。
朝のタクシー（仮設園舎⇒豊田駅）	○	朝7時に子どもを預けても、電車の時間に間に合わない方への対応策として実施させていただきます。
延長保育開始時間変更	○	延長保育開始は18時15分からとします。
閉園時間の延長	○	閉園時間は19時15分とします。
<ul style="list-style-type: none"> 豊田駅⇄仮設園舎間の送迎バス 豊田駅前での預かり保育 	×	説明会等でご要望いただきましたが、昨年度のアンケート時点では「実現ほぼ不可能」と分類し、アンケート選択肢から除外させていただいております。豊田駅と仮設園舎間の送迎バスは、バス1台でピストン運行した場合、10分～15分間隔で仮設園舎出発となりますので、駅まで徒歩10分程度であることを考えると実質的な利便性に乏しく、また、徒歩10分の距離でバスを運行させることは費用対効果の面で市民全体への理解は得られにくいと考えます。また、豊田駅前での預かり保育は、仮設園舎と預かり保育場所までの送迎バス借り上げ費用に加え、保育場所の借り上げ費用、保育士を配置する費用等が発生し、さらに困難であると考えます。

(3) 仮設園舎への移転時期

仮園舎への移転時期は、保護者の皆様と3月末でお約束しているところです。

しかしながら、保育園現場では、3月末に園舎を移転することに対して不安を抱えています。抱えている不安材料につきましては、以下に示す対応で負担を減らしていく考えですが、移転が3月末である限り、完全に解消できるものではありません。保育園の負担軽減のためには仮設園舎への移転を3月上旬に変更することが妥当だと考えます。

一方で、移転時期を変更することは、今までも保護者の皆様からたくさんのご意見をいただいているように、勤務形態や通勤面で支障が発生するため受入れ難いということは理解しておりますので、**保育園現場の声を保護者の皆様にお伝えし、保護者の皆様のご意見をお伺いしたいと考えております。保護者の皆様のご意見につきましては説明会又はアンケートという形で改めて行う予定ですが、現在の状況についてお知らせいたします。**

1. 3月末の移転に伴う懸案事項と対応

状況	懸案事項	対応
日常保育の他に卒園準備、進級準備、新年度準備を進めています。一年で一番忙しい時期です。	毎年度の状況だけを考えても、各種準備を進めながら子どもたちと向き合っていくのは大変だという実感があり、さらに引越準備や引越作業が加わった場合、保育士の繁忙・混乱によるトラブルが発生しかねない。	仮設園舎の完成を早め、保育に最低限必要なもの以外は、3月上旬までに仮設園舎に運んでおくなど、3月末の引越し負担を最小限とする準備を行います。事前準備（運搬）については市の保有トラック（2t）等を使用して作業可能です。また、2月中であれば、他の保育園職員に応援を依頼することも可能です。
子ども達にとって卒園や進級による環境の変化がある時期であり、加えて場所が変化することは子ども達の動揺につながります。特に卒園児は就学を前にして興奮した心もちもあり、不安定になっていきます。	保育士は不安感を期待感に変えるよう、また高ぶった状態から怪我につながる事が無いよう意識して保育にあたりますが、通常の年度末でも目いっぱいなのが現状です。	保育士が忙しく落ち着かない様子が、子どもたちに影響を与えないように、引越準備は3月の繁忙期に入る前にある程度終わらせておけるようにスケジュールをたて、準備を進めます。

<p>仮設園舎に慣れるまでに時間がかかることが想定されます。</p>	<p>仮設園舎の、どこの場所が危険か、死角になるか、子どもはどこでどんな動きをするかなど見通しが持てない状況です。現在の園とは違う点をしっかり見極めなければなりません。</p> <p>また、実際に使用してみて初めて分かる園舎内の不都合などもあるかも知れません。</p>	<p>仮設園舎の完成を早め、実際の仮設園舎を使用しての検証を十分に行う時間を確保します。仮設園舎内での動きや物のありか（想定）、危険箇所等の把握など、園舎の使い方についての予行演習を十分に行います。とよだ保育園の保育が手薄にならないように、必要であれば他の保育園職員に応援を依頼します。</p>
<p>例年のクラス移動でも、落ち着かない様子が見られる子どももおり、さらにクラス全体に波及していくこともあります。引越しが重なると、在園児が仮設園舎に慣れていない状況で、新入児を受け入れることが想定されます。</p>	<p>子どもたちの気持ちに向き合っ てあげるには 時間が足りないと予想されます。</p> <p>また、職員（大人）側の心・身体 の安定した良い状態も必要です。加えて保護者（大人）にと っての、送迎等の新しい環境への切り換えも重なり、子ども・職員・保護者ともに落ち着かない状況で新年度を迎え、新入児の受け入れが開始される懸念があります。</p>	<p>保育士が仮設園舎で混乱しないために、仮設園舎現場でのシュミレーションを十分に行い、保育士が子どもたちにしっかり向き合える余裕がある状態に近づけるよう、事前準備を万端にします。また、保護者の皆様にもご協力いただきながら、送り迎えで戸惑いや混乱が発生しないように準備し、大人の混乱が子どもたちの精神状態に影響しないようにしていきます。</p>
<p>給食室の引越し期間（1週間程度）に発生するお弁当対応も、職員の余裕が必要です。</p>	<p>給食に関しては、万全を期して取り組んで対応しています。職員（大人）の落ち着いた状態が必要です。</p>	<p>お弁当対応については、みなみだいら保育園で実施した状況を参考にしながら、気を付けるべき点や準備しておくべき点等を整理し、体制を整えます。</p>

2. 移転時期についての希望（保育園ヒアリング結果）

「新年度開始まで1か月の期間がほしい」

- ・在園児がある程度慣れてから新入児を迎える体制が、環境の変化に対する子どもの負担の軽減が出来ると思います。その期間に最低1か月がほしいです
- ・1か月の期間内に 在園児と現担任でまずは 新しい環境での土台作りをします。
当然はじめは浮足立った状況が予想されますが 少しずつ落ち着く方向で保育します。
卒園児には新しい園舎での 楽しかった経験もしてもらいたいと思います。
(それらの観点からは、3か月くらいあると理想です)
- ・現園舎での卒園式に関しては、在園児が雨で駆けつける事が出来ない場合は除いて、全園児で祝う体制を作り実施出来ると思います。

3. 保護者会代表の皆様からいただいたご質問と回答

①もし引っ越し時期を早めた場合子どもたちはどのクラスに入るのでしょうか。

旧クラスに入るとなると、通年とよだ保育園では3月の最終週には新クラスに入っているためクラス間の引っ越しが2度になり手間なのではと思います。

新クラスに入るとなると年長クラスは1か月近くホールで過ごすことになるのでしょうか。

→3月上旬に引越しをした場合には、初めから進級後の保育室に入ります。1歳クラスで説明すると、保育室

は2歳クラスの保育室に引っ越しますが、保育室入口のクラス表示は「ひよこ」とし、通常の教室移動の時期（3月最終週くらい）になりましたら、クラス表示を「りす」に変更し、新しい体制の下で保育を開始します。子ども達にも「今日から進級だよ」という話をします。5歳クラスは卒園までホールで過ごします。荷物置き場等もホールにつくります。5歳クラスの子ども達の事やホールの使い勝手を考えても、特に問題ないと考えています。（保育園と協議の結果）

②保護者の間では3月ではなく4月以降に引っ越しをしてほしいという意見も挙げられています。4月以降の引っ越しについてもご検討頂きたいと思えます。

→当初より、現園舎の解体から新園舎建築までの期間が12か月では間に合わない懸念があるをご説明させていただいております。昨年、仮設園舎の引越し時期を12月から3月に変更させていただいた際にも、「現園舎の解体から新園舎建築まで12カ月の工期で完了を目指しますが、翌年4月に新園舎の完成が間に合わない可能性があります。」ということで説明させていただきました（平成26年11月21日付、日子保第864号「とよだ保育園民営化に伴う仮園舎及び転園を希望する場合の優先措置について」）。引っ越しが4月以降になりますと、工期的に間に合いませんので、4月にずらすことは出来ません。

また、4月は新入園児を受入れ、ならし保育を開始します。現園舎でならし保育を行ってすぐ仮設園舎へ移動することは新入園児（低年齢の子どもが多い）にとって大変な負担となり、ならし保育の意味が無くなってしまうと保育園から聞いています。

4. その他

移転時期を3月上旬に早めた場合に発生する送迎面での対応ですが、現在お示している仮園舎へ移転することへの対応（閉園時間の延長や朝のタクシーなど）に加え、3月いっぱいは現園舎の駐輪場を使用することが出来ます。自転車を置きっぱなしにして通勤していただくことも可能です。また、現とよだ保育園の駐車場についても引き続き使用可能です。

※昨年度実施した仮設園舎に関するアンケート及びアンケート結果は、日野市ホームページに掲載しております。

[日野市ホーム](#)>[子育て・教育](#)>[保育園と幼稚園](#)>[保育園](#)>[とよだ保育園の民営化について](#)

※送迎面の対応策についての市の考え方は、平成27年1月13日付、「日野市立とよだ保育園民営化の進め方見直しに関する要望（回答）」にございますので、参考にしてください。

[日野市ホーム](#)>[子育て・教育](#)>[保育園と幼稚園](#)>[保育園](#)>[とよだ保育園の民営化について](#)